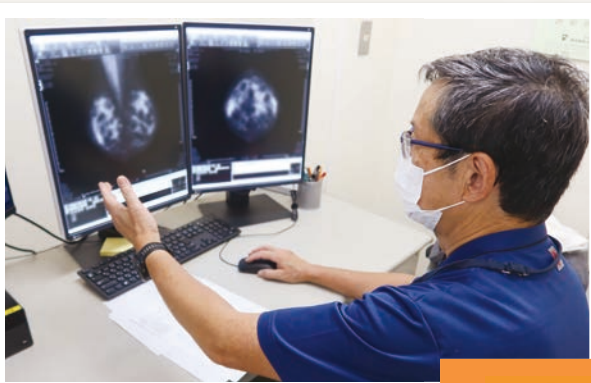


とちぎメディカルセンター 通信

No.27
2026.9



X線画像の読影・判定は精度を高めるため、専門的知識を有する医師とダブルチェック体制で行います。



Snap News 総合健診センター

全日本病院協会より「日帰り人間ドック実施指定施設」に認定されました。

これからも健康診断における正確な診断とサービス向上に務め、より質の高い健康診断（人間ドック）が提供できるよう、一層尽力してまいります。



胃カメラで使用する内視鏡は、体内に直接入れる医療機器です。学会の定めるガイドラインをもとに作成したマニュアルにより徹底した洗浄管理を行います。



安全・安心な検査のためには担当者間の連携が欠かせません。小さな問題点も確認し、改善に活かしています。検査終了後のフォローアップ状況も共有します。

Special!

患者さん・ご家族が穏やかに過ごせるように ～とちのき 緩和ケア病棟のご紹介～

Doctor's Interview

とちぎメディカルセンターしもつが
脳神経外科 主任医長

安部 欣博
(あべ よしひろ)



市民公開講座の最新情報は
公式LINEをチェック！

新たな頭痛治療について

topics

経管栄養剤について

とちぎメディカルセンター通信

バックナンバーはWEBで閲覧できます。

<https://www.tochigi-medicalcenter.or.jp/magazine/#log>





とちぎメディカルセンターしもつが
脳神経外科 主任医長

安部 欣博
(あべ よしひろ)

【獣医師として志した脳神経外科医】

2026年4月より、とちぎメディカルセンターしもつがに脳神経外科医長として着任しました安部欣博と申します。私は、酪農学園大学獣医学部を卒業し、獣医師として動物の脳神経外科を始めたいと思い、ヒトの脳神経外科医の道に進みました。獨協医科大学を卒業し、同大学の脳神経外科医局に入局して鍛錬を積みました。現在は、動物の脳腫瘍手術を全国各地で行いながら、ヒトの脳神経外科医療にも従事しております。こちらに赴任する前は、上都賀総合病院で10年間、脳神経外科部長を務めておりました。その際、外来で多くの頭痛患者様に携わるようになり、2025年に頭痛外来を発足させました。当院でも引き続き頭痛外来を発足させて、多くの頭痛患者様の診療を行っていきたくと考えております。

【頭痛は身近な病態です】

国民の4人に1人が、頭痛で悩んでいると言われるほど、頭痛は身近な病態です。原因は様々ですが、脳腫瘍・脳出血・くも膜下出血など命にかかわる2次性頭痛は、絶対に見逃してはいけない疾患です。我々脳神経外科医は、このような頭痛は、最も得意とする分野であり、自信をもって対応することができます。しかし、頭痛症状の多くは、このような器質的疾患がない1次性頭痛と言われるものです。その多くの原因は、筋緊張性頭痛と片頭痛と言われています。この病態は、診断も複雑であり、治療も一筋縄ではいきません。同じ診断に至っても、人によって痛みの程度、日常生活の支障程度などが違ってきます。我々は、患者様一人一人の状況をよく把握して、オーダーメイドの治療を考えていかなければなりません。

【片頭痛治療はコントロールできる時代へ】

一般的に頭痛治療は、痛いときに対応する急性期治療と、予防を主体とした慢性期治療に分かれます。鎮痛薬としてロキソニンに代表されるNSAIDs、痛くなってきた初期に飲むと効果的なトリプタン製剤は急性期治療に用いられる典型的な頭痛薬です。血管に作用するロメリジンや抗うつ薬アミトリプチリンなどは、予防薬として慢性期治療に使われるものです。これらの内服薬は昔から存在し、片頭痛治療薬として用いられてきました。しかし、比較的效果が薄く、結局片頭痛は治らないので、一生付き合っていくものと認識されていました。しかし、最近になって、片頭痛発作を起こす物質に、カルシトニン遺伝子関連ペプチド（CGRP）という物質が関与していることがわかってきました。これに対する治療薬が開発されたことにより、片頭痛の治療は飛躍的に進歩しました。特に、予防治療を主体とした、3つの注射製剤が出てきたことにより、片頭痛治療はコントロール可能な時代に入ってきています。また、急性期治療においても、新しい有効な薬が出てきており、様々な状態に対応できる治療法がたくさんあります。今まで治らず一生付き合っていくものと思われていた頭痛が、発作自体をなくせるところまで進んできているのです。

【敷居の低い脳神経外科へ】

脳神経外科というと、命のかかわる病気が主体で、敷居が高いイメージがあると思います。しかし、当院当科では、そのようなイメージを払しょくするため、どなたでも気軽にかかることができることをモットーに診療を行っております。我々は、患者様と一緒に考えて、オーダーメイドの治療を行い、日常生活から頭痛に影響されない新しい人生が始まることができるようサポートしてまいります。

教えて！安部先生！～頭痛Q&A～

Q.1 頭痛の診断でCTやMRIを撮影してもらうことはできますか？

できます。頭痛の原因に命の危険があるものが含まれていますので、頭痛で初診の場合は、必ずと言ってよいほど、CTやMRI検査を行います。また、そのような命の危険にかかわる病態は、我々脳神経外科医が最も得意としている分野ですので、ぜひ、当科に受診してください。



Q.2 頭痛に市販薬を飲んで良いのですか？ また、市販薬で効かないときは、ほかの薬を併用してよいのでしょうか？

市販薬を長期間たくさん飲むと、頭痛そのものを誘発するMOH（薬物乱用頭痛）の病態になります。この場合の治療法は、まず、頭痛薬を飲むことをやめていくことになりますので、自己判断で市販薬を飲むのではなく、まずは当科外来受診していただき、当科から処方されたお薬を飲むことをお勧めいたします。

Q.3 薬を飲み続けると 癖にならないか心配です。



片頭痛や筋緊張性頭痛の場合は、生活態度や頭痛体操などで改善を試みる場合がありますが、基本的には薬で治療する方法です。薬を飲み続けるような慢性的な頭痛は予防治療が主体となります。しかし、最近の片頭痛に対する予防薬治療を1年以上行って、頭痛発作が起きなくなった場合は、薬から離脱できる症例も報告されています。

Q.4 片頭痛の注射をすれば、飲み薬は飲まなくても頭痛は起こりませんか？

人によって効果は違います。注射剤だけで、ほとんど頭痛が起こらなくなり、内服薬を必要としない患者様もいます。また、数日は頭痛が起こり、内服薬と併用している患者様もいます。その人にあった治療計画を適応していくことになります。



Q.5 月経周期と頭痛の関係はありますか？

注射薬で片頭痛発作がほとんど予防された患者様でも、生理時期だけの頭痛は抑制されない症例がたくさんあります。生理痛に付随する頭痛は、治療しにくく、ホルモンと頭痛の関連は以前から指摘されています。産婦人科との連携も重要ですし、最近は新しい薬剤によって、生理時期の頭痛に有効な症例もあります。



Q.6 頭痛で辛い時、周りに理解されないことが多く困っています。

頭痛発作のつらいところは、何度も繰り返すことです。最初は周囲も心配して対応しますが、数回繰り返すうちに、「またか」という雰囲気になります。周囲に理解させようとしても、頭痛持ちでなければわからないところがあります。周りに理解させることを求めるというよりも、頭痛発作そのものを減らしていくことに主眼を置いた方がよいと思います。



Q.7 頭痛が起きそうな時、予防で頭痛薬を飲んだ方が良いですか？

予防で飲んでよい薬剤と、痛くなってから飲む薬剤があります。

片頭痛治療は、このような薬の組み合わせを、患者様の状態を把握して処方します。

まずは、受診して外来でご相談ください。

Q.8 気圧や天候の影響による頭痛を軽減するために何か工夫できることはありますか？

気圧や天候により、頭痛発作は頻繁になります。頭痛外来をやっていると、多くの患者様は、同じ時期に頭痛発作を起こしていることがあります。

気圧や天候から逃れることは不可能ですので、頭痛が起こるかもしれないと感じたときに、事前に内服する薬などを用いて対応しています。

患者さん・ご家族が穏やかに過ごせるように ～とちのき 緩和ケア病棟のご紹介～

今回は、4月から再開した、とちのき緩和ケア病棟をご紹介します。

「緩和ケア」とは、身体的・精神的な苦痛をやわらげるためのケアであり、それらの専門的ケアを提供する病棟が「緩和ケア病棟」となります。

- 有料個室：7床**
(テレビ・冷蔵庫・トイレ付)
- 無料個室：7床**
(カード式テレビ・カード式冷蔵庫・トイレ付)
- デイルーム**
共有のファミリーキッチン・電子レンジ・冷凍庫をご利用可能
家族室や面談室、各病室で寝たまま入浴できる特殊浴槽があります。



病棟外観



病棟内



病室



特殊浴槽



デイルーム

緩和ケア病棟で大切にしていること

その人らしさを大切にし、それを分かろうとするために、チーム内で情報を共有し、理解を深めることが一番大切だと思っています。

『ここに来て良かった』と患者さん、患者さん家族だけではなく、医療スタッフみんながそう思える場所にすることを目標にしています。



緩和ケア病棟に入院する基準について

当科の対象となる病気は、がん・腎不全です。

- ①患者さん、ご家族が緩和ケア病棟への入棟を希望されていること
- ②積極的な治療（抗がん剤治療や手術療法、透析等）が中止されていること
- ③患者さんご自身が病名や病状を理解し、自らの意思や希望を伝えられること
(病気により病状の認識が不十分であったり意思を表明したりすることが難しい場合は、患者さんの代理人の判断と意思をもって代えることができます)

緩和ケア病棟の支援内容について

「身体的なつらさ」・「精神的なつらさ」・「社会的なつらさ」・「生きる意味へのつらさ」をやわらげられるよう、医師や看護師だけではなく、心理士やソーシャルワーカー、薬剤師、栄養士、療法士といった多くの職種が患者さんとご家族をサポートしています。

具体的な例として、

- ①寝たきりで酸素が必要な状態ではあるが、外出したい患者さんの思いがあるとき、福祉タクシーや在宅酸素の手配など外出のお手伝いをします。
- ②生きる意味に悩んだとき、患者さんがこれまでの人生を振り返って、大切な思い出や家族へのメッセージを語り、それらを文章として伝えるお手伝いをします。
- ③筋力は落ちているが、自分でトイレに行きたいとき、ベッドの位置を個々に合わせ、歩行距離を極力短くして患者さんのできること・行えることを支えます。
- ④食事が十分に取れないけれども楽しみたいとき、患者さんの希望に添った食事を極力提供できるよう工夫し、食の楽しさを支えます。
- ⑤家族との時間を多く取りたいとき、面会可能時間は設けていますが、年齢制限と1回の面会における時間制限はないため、会いたい・会わせたい方に会うことができ、患者さん・ご家族・ご友人とゆっくり過ごすことができます。

毎月イベントを開催しています

患者さんやご家族が、入院中でありながらも季節を感じられ穏やかに過ごせるように、四季折々の行事を企画しています。病棟スタッフが工夫を凝らし、患者さんの体調に配慮しながら行います。

季節の移り変わりを飾り付けや食べ物、音楽等から実感できるような行事として、春はお花見、夏は夏祭り、秋はお月見、冬はクリスマスやお正月などを行っています。

心を癒やすイベントとして、オーケストラによる演奏の視聴（インターネット配信）や、日常を豊かにするお茶会、患者さん個別の対応として誕生日会などを行っています。



お茶会のスイーツ



演奏会視聴



夏祭り

レスパイト入院について

レスパイト入院とは、自宅で療養している患者さんのご家族に休養をとってもらうための短期入院です。休養以外にもご家族の出張や冠婚葬祭などの場合にもご利用いただけます。レスパイト入院の場合は、入院期間を決めて入院することとなります。

■お問い合わせ先

とちぎメディカルセンターとちのき 地域医療連携室

TEL：0282-22-5639（直通） FAX：0282-21-7710

とちぎメディカルセンターとちのき
薬剤部長 小松 英之

2026年度（令和8年度）の診療報酬改定により、保険給付の適正化の観点から栄養保持を目的とした医薬品の保険給付の要件が改定されました。一部の経管栄養剤について、保険適用となる条件が見直され、「医学的必要性が明確な患者に処方する」方向で条件が厳しくなっています。今回の改定について解説していきたいと思います。

経管栄養剤とは？

体に必要な糖質、たんぱく質、脂質、電解質、ビタミンなどを「腸を通じて(経腸的に)」投与方法のことです。栄養を口から補給する「経口法」と、チューブを用いて投与する「経管栄養法」があります。

経管栄養剤は組成により3つに分類されます

成分栄養剤

成分栄養剤は、経腸栄養剤の一種で、たんぱく質をアミノ酸レベルまで分解し、糖質、脂質、ビタミン、ミネラルなどを「化学的に明確な形」で配合した栄養剤です。



消化態栄養剤

消化態栄養剤はたんぱく質があらかじめ細かく分解されている栄養剤のことです。アミノ酸や低分子ペプチドという形になっていて、胃や腸でほとんど消化しなくても、そのまま吸収されやすいように作られています。エネルギー源となる糖質、分解済みのたんぱく質、脂質、ビタミン、ミネラルなど、基本的に必要な栄養素がバランスよく含まれています。

半消化態栄養剤

半消化態栄養剤のたんぱく質は主に「たんぱく質のまま」含まれ、糖質や脂質、ビタミン、ミネラルもバランスよく配合されているため、通常の食事に比較的近い栄養構成です。

半消化態栄養剤は、体内で消化・吸収が必要であり、消化吸収機能が不十分な場合は使用できません。

	成分栄養剤	消化態栄養剤	半消化態栄養剤
窒素源	アミノ酸	ペプチド（アミノ酸が2～50個程度ペプチド結合でつながった化合物）	タンパク質（アミノ酸が50個以上つながった化合物）
脂 質	極めて少ない	少ない	やや多い
消化の 必要性	不要	ほとんど不要	ある程度必要

2026年度（令和8年度）の診療報酬改定により変更になったこと

入院中の患者以外に、栄養保持を目的とした医薬品を処方し、次のいずれかに該当しない場合は健康保険の対象になりません。

- ①手術後で十分に食事がとれない患者 ②経管（チューブ）から栄養を入れている患者
③病気や体の状態のために、食事だけでは必要な栄養がとれない患者に対して、医師が「栄養を保つためにこの薬が必要」と判断した場合



Q1 どんな薬が「栄養保持を目的とした医薬品」なのですか？

A 厚生労働省が示しているのは、薬効分類が「たんぱくアミノ酸製剤」で、効能に「手術後患者の栄養保持」などが書かれており、飲み薬として使えるものです。

Q2 これらの薬は今まで通り、健康保険で使えますか？

A 条件を満たせば保険で使えますが、「食欲が少し落ちたから」「何となく元気がないから」という程度で、食事と一緒に気軽に出すような使い方は、健康保険では認めない方向に整理されています。

地域連携協力施設のご紹介



とちぎメディカルセンターでは、地域の診療所・クリニックの先生に「地域連携協力施設」としての登録をお願いしております。第一線の地域医療を担う「かかりつけ医」の先生方と連携を密に取ることで、互いの役割を明確にし、切れ目のない医療を提供しています。このコーナーでは登録いただいている施設を毎回ご紹介します。



金子内科医院

院長：金子 明弘
住所：栃木市吹上町1642-1
TEL：0282-25-6031
診療科：内科
<https://kaneko-naika.com>



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:30~12:15	●	●	●	—	●	●	—	—
15:30~18:00	●	●	●	—	●	※	—	—

※土曜日（午後）は14:00~17:15となります。

当院は、地域に根ざした「町医者」として、一般的な内科疾患から慢性疾患、日々の体調管理まで総合的に幅広く診療しています。「栃木県ひとにやさしいまちづくり条例の適合施設」として、玄関をはじめ院内すべてバリアフリーとしています。高齢化が進む地域で、患者さんご家族が安心して暮らせるよう支えることを何より大切にし、病気を抱える方の不安や悩みに寄り添いながら、少しでも穏やかな気持ちで生活できるようお手伝いします。健康面で困ったときに気軽に相談できる親しみやすい内科医院として、一人でも多くの方が普段と変わらぬ毎日を送れるよう、地域の健康を守り続けてまいります。

ごとう脳神経外科・救急科クリニック

院長：後藤 晴雄
住所：栃木市今泉町1-2-6
TEL：0282-25-9099
診療科：脳神経外科、救急科、
内科
<https://gotonouge.jp>



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	●	※	●	●	●	—	—
13:00~17:00	●	●	※	●	●	—	—	—

※水曜日のみ：脳外科（後藤）／総合内科（村田）の2診体制

2026年8月、栃木市今泉町に新規開院させていただきました院長の後藤晴雄（脳神経外科専門医）です。当院では頭痛、もの忘れ、めまい、しびれ等の日常的な診療から、脳卒中などの専門的治療・退院後の外来フォローアップ・二次予防を得意としております。院内に画像検査設備を備えており、頭部外傷（小児含む）のほか、軽症救急にも対応いたします。地域の皆様が安心して受診いただける「頭のかかりつけ医」を目指します。とちぎメディカルセンターを中心とした病診連携の一翼を担えるようスタッフ一同尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

医療法人社団さおとめ会 早乙女歯科医院

院長：小池 良平
住所：栃木市都賀町家中2408
TEL：0282-27-3737
診療科：歯科、矯正歯科、
歯科口腔外科、小児歯科、
小児矯正歯科
<https://www.saotome-dental.com>



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:30~12:30	●	●	●	●	●	●	—	—
14:30~17:30	●	※	●	●	●	●	—	—

※火曜日は15:30受付開始

※木曜日は小児メンテナンスが休診

「口腔の健康を守り育てることから全身の健康づくりを通じて社会に貢献する」という理念のもと、当院は、お子さまからご家族まで、生涯にわたり健康を支える歯科医院を目指しています。私たちが目指すのは、「治療のために通う歯科医院」ではなく、「健康を守り育てるために通う歯科医院」です。0歳からの口腔育成を大切にするとともに、お子さまの健やかな成長と、ご家族皆さまの健康を守るため、予防を大切にしています。ご家族皆さまの健康と、生涯にわたり健やかな毎日を送れるよう、寄り添いながら支えてまいります。

植竹歯科医院

院長：植竹 由乃
住所：栃木市惣社町889-3
TEL：0282-28-0838
診療科：歯科、小児歯科、
口腔外科、審美歯科、
矯正、インプラント
<https://www.uetakeshika.jp>



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	●	●	—	●	●	—	—
13:30~18:30	●	●	●	—	●	●	—	—

※木曜日、日・祝日は休診

「子どもから大人まで 家族みんなでかかれるホームドクター」として患者さんに寄り添った治療を行っています。口腔内写真やレントゲンでわかりやすいご説明をし、服用している薬を調べて治療計画をお話しします。このため、初診時には十分に時間をかけてご説明をします。また、痛みの少ない治療や、1本の歯を大切に治療を心がけております。CTやニッケルチタンファイルを使用した根管治療には定評があり、小児の歯並びや高齢者の口腔機能の改善にも力を入れております。作製した義歯は良く噛めると喜ばれています。

『TMCまつり2026』のお知らせ

とちぎメディカルセンターでは、今年もTMCまつりを開催します！！

地域の皆様に当法人の医療・介護サービスを身近に感じていただくために、市民公開講座や、手術室見学ツアー、看護師体験、音楽演奏、キッチンカーなど、お子様から大人まで幅広く楽しめるイベントをたくさんご用意してお待ちしております！！

■ 日 時 2026年10月25日（日曜日）9:30～15:00 ※雨天決行

■ 会 場 とちぎメディカルセンターしもつが
栃木県栃木市大平町川連420-1（無料駐車場あり）

■ 内 容 詳細は、公式ホームページをご覧ください。

<https://www.tochigi-medicalcenter.or.jp/>



◆主 催：一般財団法人とちぎメディカルセンター

◇後 援：栃木市・下都賀郡市医師会

◆協 賛：とちぎメディカルセンター労働組合 他

◇お問い合わせ先：法人本部 総合企画部

TEL：0282-20-1281



かんたん健康体操

自宅や職場で簡単にできる体操を紹介します。

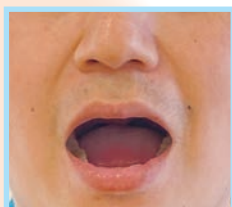
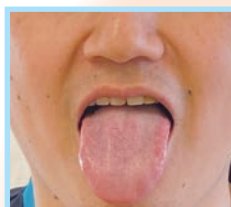
舌の体操

発音の改善や飲み込み能力の向上など
誤嚥性肺炎予防に効果が期待できます。

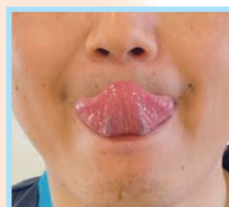
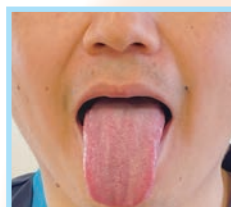
YouTube公式
チャンネルで
詳しい動画を
ご覧になれます。



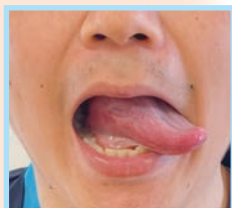
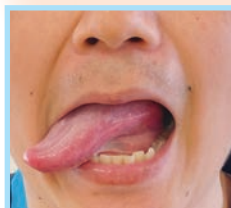
①前に出す - 引く × 5回



③上下に動かす × 5回



②左右に動かす × 5回



<運動上の注意>

- ・口腔内に痛みを感じた場合には運動を控えましょう。
- ・医師から運動を止められている場合は、医師の指示に従ってください。

監修：とちぎメディカルセンターしもつが
リハビリテーションセンター

健保連人間ドック 実施指定施設

健康保険組合連合会
認定
(公社)全日本病院協会

27号の表紙 総合健診センターの第三者評価受賞について

このたび、総合健診センターは、とちぎ総合健診センターに続き、全日本病院協会より「日帰りドック実施指定施設」に認定されました。この認定は健康診断における施設環境が適切に整っているかを第三者機関により厳正に審査いただいた結果によるものです。毎年の健康管理に、ぜひ総合健診センターでの人間ドックをご利用ください。

発行・編集

一般財団法人
とちぎメディカルセンター

総合企画部 広報連携課



<https://www.tochigi-medicalcenter.or.jp/>